

合唱団保護者様



# Canto ridente

～笑顔の歌声～ No.4

令和4年8月24日(水)

横浜市立中沢小学校

合唱団担当 久保 宏之

## ♪コンクールを通しての成長♪

夏のコンクールが終わりました。ここまでの大きな一区切りです。短い夏休みではありましたが、それぞれ心や体を休めることができたでしょうか。

コンクールに向けての練習で子ども達に改めて話しましたが、合唱団が大切にしたいことは、「目標に向けてねばり強く努力をし続けること。自分と向き合い、人と関わり、成長していくこと」です。TBSは優秀賞、NHKは銅賞をいただきましたが、「〇〇賞」という言葉だけでは、努力を計ることはできません。「金賞だから努力をした。銅賞だから努力をしていない」というわけではありません。このコロナ渦で、コンクールというステージにまだ一度も立ったことのない子ども達一人ひとりが、今自分にできる最大限の努力を積み重ねました。

5月頃、2時間の練習の後半にはもう疲れきって表情もなくなっていた子ども達が、毎日3時間伸びやかに歌いきれるようになりました。練習の中で、少し厳しい指摘があると、気持ちが落ちて弱々しい声になっていたのが、諦めずに何度も繰り返し歌える強さが身に付きました。そんな練習を積み重ね、緊張しながらもステージの上で発表することを通して、大きく成長し、変わっていった夏だと思います。

同時に、自分の限界まで努力をしたからこそ、見えてくる課題もあります。新たに生まれ気付いたその課題とも向き合い、コンクールを一つの経験として、「今までより良い歌声を目指して歌い続けること。そして歌を通して感動したり、楽しんだりしたその気持ちを、また歌声を通して、聴いてくださる方々に届けていくこと」それが次の目標となっていきます。

また、夏の練習には、これまでの卒団生がたくさん顔を出してくれました。中学1年から大学生まで、総勢で40名近く。中には毎日のように来てくれた子もいます。たくさんの先輩たちの愛情に包まれたことも、これから先への思いを後押ししてくれたと思います。

今年度は、保護者の皆様に子ども達のがんばりを見ていただける機会が増えました。お子様の体調管理やご家庭での励まし、自宅練習へのご協力など、お子様と一緒に走っていただき、本当にありがとうございました。